記者発表資料

がんばろう！東北

平成２８年８月３日
東北地方整備局
東北運輸局

「東北圏広域地方計画シンポジウム」を開催します
～８月１８日（木）東北大学川内萩ホール～

【これからの10年は「豊かな東北圏の形成を目指す」千載一遇のチャンス】

東北圏は、震災で大きな被害を受けるとともに人口減少が進みつつあります。
一方で、復興事業が結実期を迎えるほか、高規格道路や港湾整備等の事業が展開され、今後、拠点間の時間距離が大きく縮まるなど、移動や輸送の環境が大きく変わろうとしています。
このような大きな変化に対して、豊かな東北圏を形成するための地域づくりの方向性を圏域として明確にすることが、今後求められます。

そのためのキーワードの一つは、「対流」。

シンポジウムでは、東北大学里見総長から基調講演をいただくほか、経済団体、行政、企業、農業、観光等の各分野で活躍されている皆さんによるパネルディスカッションにより、圏域間そして地域内の「対流」を進め、より豊かで、多世代が持続的に安全・安心に定住できる地域を形成して行くために、今、私たちが何をすべきかを考えます。

【東北圏広域地方計画の策定と推進】
新たな「東北圏広域地方計画」は、国土形成計画（全国計画）の見直しに伴い、3月29日に決定。策定は、地方公共団体、経済界、国の地方行政機関で構成される「東北圏広域地方計画協議会」において地域主導で実施。「国土のグランドデザイン２０５０」、さらに地方版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等との連携の下、協議会の枠組みを活かし、官と民、国と地方が緊密に連携し、東北圏における対流を促進します。

◆　開　催　概　要　◆

○開 催 日 時：平成２８年８月１８日（木）１４時００分～１７時３０分
○開 催 場 所：東北大学百周年記念会館　川内萩ホール（仙台市青葉区川内４０）
○主　　催：東北圏広域地方計画協議会
○取材について
・受付は１３時３０分から行います。
・記者の方は事前申込みは不要ですが、当日受付を済ませてからご入場下さい。
＜発表記者会＞：宮城県政記者会、青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、秋田県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、新潟県政記者クラブ、新県政記者クラブ、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局
東北圏広域地方計画推進室　022-225-2171（代表）
課長補佐　桐山（きりやま）　久夫（ひさお）（内線：3156）
課長補佐　田中（たなか）　昇（のぼる）（内線：6132）

東北圏広域地方計画シンポジウム

震災復興から自立的発展へ



～防災先進圏域の実現と、豊かな自然を活かし
交流・産業拠点を目指す「東北にっぽん」～

日時 平成28年8月18日(木)
14時～17時30分(開場13時30分)

場所 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール
(仙台市青葉区川内40)
仙台市営地下鉄東西線 国際センター駅西1出口より徒歩約5分



※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
※会場は東北大学構内のため、全面禁煙にご協力をお願いいたします。

主催者挨拶……14:00～

東北圏広域地方計画協議会会長
(一般社団法人 東北経済連合会 会長) 海輪 誠

基調講演……14:25～

テーマ「ワールドクラスへの飛躍」と
「復興・新生の先導」を目指して



里見 進氏(東北大学総長)

入場無料
定員600名
●事前の参加申込みをお願いします。
詳しくは裏面をご覧ください。

パネルディスカッション……15:30～

テーマ「東北圏の自立的発展の実現に向けて」

コーディネーター 大滝 精一氏(東北大学大学院 経済学研究科 教授)

パネリスト
(五十音順)
大江 修 氏(一般社団法人 東北経済連合会 専務理事)
門脇 光浩氏(秋田県仙北市長)
谷本 均 氏(花王株式会社 酒田工場長)
針生 信夫氏(農業生産法人 株式会社舞台ファーム 代表取締役)
横田 純子氏(特定非営利活動法人 素材広場 理事長)

お問合せ先
東北圏広域地方計画推進室(事務局)
国土交通省東北地方整備局
企画部企画課／建政部計画・建設産業課
TEL:022-225-2171(代表)

■主催／東北圏広域地方計画協議会
■後援／東奥日報社、岩手日報社、河北新報社、
秋田魁新報社、山形新聞社、福島民報社、
福島民友新聞社、新潟日報社

開 催 趣 旨

東北圏は、東日本大震災により甚大な被害を受けるとともに、急激な人口減少、少子高齢化の加速、自然災害の脅威、インフラの老朽化等の様々な課題に直面しています。

しかし、現在震災復興プロジェクトとして整備が進む三陸沿岸道路をはじめ、縦軸、それらを結ぶ横軸の道路整備により、10年後には東北圏全域に速達性、信頼性の高い交通ネットワークの効果が波及し生産性の向上が期待されます。

また、北海道新幹線の開業や仙台空港の民営化、港湾機能の拡充等により圏域間の対流が促進される条件が充実します。

まさにこれからの10年間は、東北圏に首都圏等の他圏域から積極的にヒト、モノ、情報等を「呼び込む」とともにそれらを活かす千載一遇の機会となります。

このシンポジウムは、新しい東北圏広域地方計画の将来像である震災復興を契機とした防災先進圏域の実現と、人口減少下においても自立的に発展する圏域の実現に向け、一般の方に広く計画を知っていただくとともに、東北圏の未来の可能性について考え、ビジョンを共有し、更に発展させていくことを目的としています。

東北圏広域地方計画について

東北圏広域地方計画は、新たな国土形成計画（H27.8閣議決定）に基づき、東北圏における国土づくりの将来像や地域戦略等を示すものとして、国、地方公共団体、経済団体等で構成する「東北圏広域地方計画協議会」における検討・協議を経て、平成28年3月29日に国土交通大臣決定された法定計画です。

※東北圏：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県の7県

登壇者プロフィール

里見　進 氏
東北大学総長

昭和49年東北大学医学部医学科卒業。医学博士。平成7年東北大学医学部第二外科教授、平成16年東北大学病院長、平成17年東北大学副学長等を歴任。平成24年4月から現職。平成26年11月国立大学協会会長。

大滝　精一 氏
東北大学大学院 経済学研究科 教授

長野県生まれ。東北大学大学院経済学研究科博士課程後期課程単位取得退学。専修大学助教授等を経て、現職。専門分野は、経営政策論。日本ベンチャー学会理事、組織学会評議員等を歴任。

大江　修 氏
一般社団法人 東北経済連合会 専務理事

昭和55年早稲田大学法学部卒業後、東北電力㈱入社。平成12年地域交流部課長、平成17年東京支社付 ㈳東北経済連合会東京事務所長等を歴任。平成27年6月から現職。

門脇　光浩 氏
秋田県仙北市長

秋田県生まれ。昭和56年旧西木村役場採用、平成14年旧西木村役場退職。平成15年秋田県議会議員に当選、平成21年秋田県議会議員を辞職。平成21年仙北市長に当選、現在2期目。

谷本　均 氏
花王株式会社 酒田工場長

香川県生まれ。昭和58年入社。平成18年ハウスホールド・KPS生産センター生産担当部長、平成22年サプライチェーン企画グループ生産担当部長等を歴任。平成24年4月から現職。

針生　信夫 氏
農業生産法人 株式会社舞台ファーム 代表取締役

平成15年7月株式会社舞台ファーム設立、代表取締役。平成25年内閣府食の6次産業化プロデューサーキャリア段位制度認定委員。平成26年宮城県認定農業者組織連絡協議会副会長就任。

横田　純子 氏
特定非営利活動法人 素材広場 理事長

福島県生まれ。平成6年㈱リクルート勤務。平成17年つむぎ企画として独立。観光と農産物をつなぐ活動をし、平成21年に素材広場を特定非営利活動法人に認定。理事長に就任。地産地消の仕事人。

Eメールでの申込み

メール本文に「シンポジウム参加希望」、氏名、勤務先、電話番号、FAX番号、メールアドレスを入力の上、下記アドレスに送信してください。
申込み受付後、事務局より返信メールをお送りします。

参加申込み用Eメールアドレス　**kou-suishin2@thr.mlit.go.jp**

（東北圏広域地方計画推進室）

FAXでの申込み

下記の必要事項をご記入のうえ、下記のFAX番号にお送りください。

東北圏広域地方計画シンポジウム　参加申込み・受付票

FAX：022-227-4459（東北地方整備局建政部　計画・建設産業課　行）

個人名・法人名			
担当者名 （法人の場合）		参加人数	名
連絡先	電　話　　FAX		
事務局 受付印			

※FAXにてお申込み後、事務局から参加受付票を返送いたします。
※参加受付票は、シンポジウム当日に受付にご提出頂きますのでご持参ください。

●FAXまたは電子メールでお送り頂いた内容は、個人情報保護に関する法令にのっとり厳正に管理し、本シンポジウムの運営事務に関する目的以外には使用いたしません。